

千倉夏のイベント

た〜ま〜あ〜

◎ちくらBONフェスタ

開催日
8月13日(土)
18:30~
雨天順延 8/14・15日



開催場所 千倉漁港広場(千倉町平館)

千倉の夏の風物詩

「花火とフラダンス」

夜空を彩る迫力ある4,000発の花火とハワイアンミュージックに合わせ、次々に繰り広げられるフラガールの踊り。

お楽しみステージや露店も出ます。



◎すいかの無料配布

日時 8月7日(日)13:00~



会場 南千倉海水浴場 先着800名
瀬戸浜海水浴場 先着250名

◎千倉ぶどうまつり

日時 8月20日(土)13:00~

会場 千倉ぶどう園



イベント問い合わせ 南房総市観光協会千倉案内所 44-3581

『きずな』では、新規会員を募集しています！

『ちくらに住んで良かった』と思える地域づくりと一緒に考え、活動しませんか。どなたでも参加できます。希望する活動グループへの入会申し込み、お問い合わせは、千倉支所内事務局までお願いします。

事務局：千倉協働推進室 地域づくり支援員 電話40-0540

ちくらだより

きょう どう
協働
つうしん
通心

発行：千倉地域づくり協議会『きずな』 企画編集：千倉担当地域づくり支援員
〒295-8601 南房総市千倉町瀬戸2294番地(南房総市千倉支所内)
TEL: 0470-40-0540 FAX: 40-1013
メールアドレス: chikura@royal.ocn.ne.jp
平成23年7月 第12号

祝千倉地域づくり協議会『きずな』設立総会



堀江洋一千倉地域づくり協議会設立準備委員長より、これまでの経緯の説明と、各方面の方々からの協力に感謝の言葉がありました。

六月三日、千倉地域づくり協議会『きずな』設立総会を、センターで開催しました。

千倉地域づくり協議会

『きずな』が、発足しました

『きずな』は、千倉に住む者が、共に助け合いい、共に笑い、共に学び、人と人との思いやりを大切にしながら、千倉が元気なまちになるよう、地域住民の交流や文化・地域資源の調査、身近な課題の解決などの活動を進めていきます。

総会当日は、石井裕市長、地元選出市議会議員、区長会、南房総市内地域づくり協議会会長の出席を頂き、五九名の会員で、規約の制定、活動目的、予算案、役員選任などが審議され、全会一致で議案はすべて承認されました。



地域を良くしていく最も大切な要素、力は、住民自らの発意、行動であり、創造性、想像力を高めていくことだと考えます。行政は、そのお手伝いをし、一緒に行動していきます。
石井裕市長



星正芳 会長

きずなという言葉には、慈しむという意味があります。きずなを出発点として、しっかりといきたいと思えます。

運営委員

役員(任期二年)
会長 星正芳
副会長 堀江洋一
副会長 小沢正順
監事 早川秀夫
監事 宇山 曉
監事 早川秀夫
監事 早川秀夫



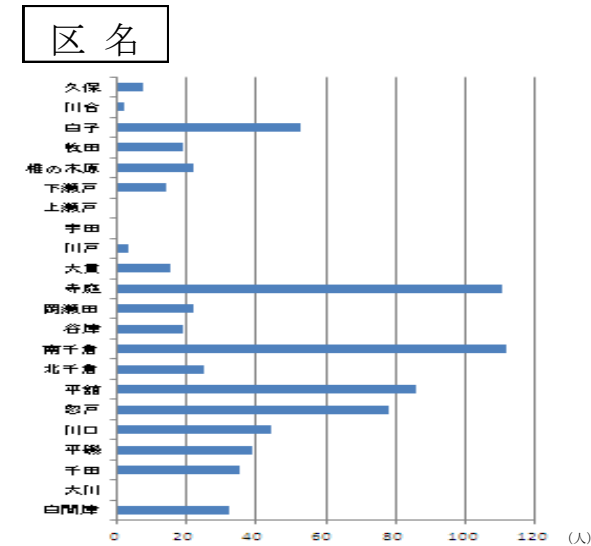
宇山慎一
石井賢司
武内章
小滝たか子
永田保夫
鈴木国雄
田中スエ子
高木洋道
堀内寛
山口常道
奥田義彦
山口旭子

アンケートにご協力頂きありがとうございました

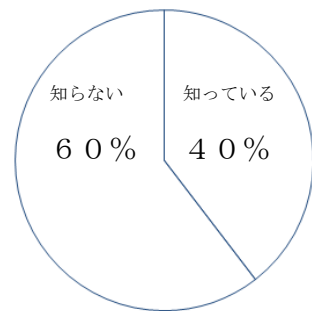
千倉地域づくり協議会『きずな』を立ち上げるにあたり、協働通心ちくらだより第9号（平成23年4月号）で、千倉の皆さんにアンケート協力のお願いをいたしました。区長会、組長さんなど多くの方々が回収に協力して下さい、誠にありがとうございました。

20代から90代まで幅広い年齢層の方からご意見を頂き、この程集計が済みましたので結果をお知らせいたします。いただいたご意見は、今後の活動に活かしていきたいと思っております。

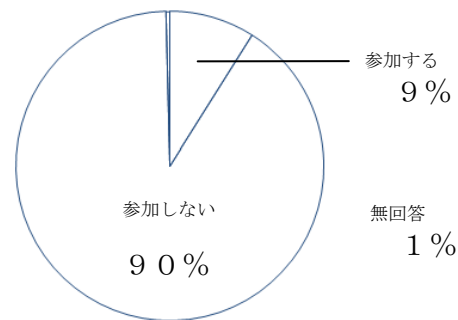
回答総数 738人



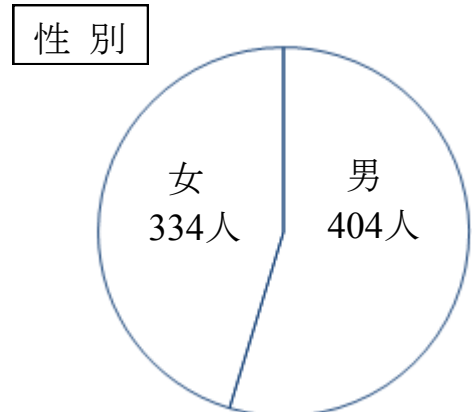
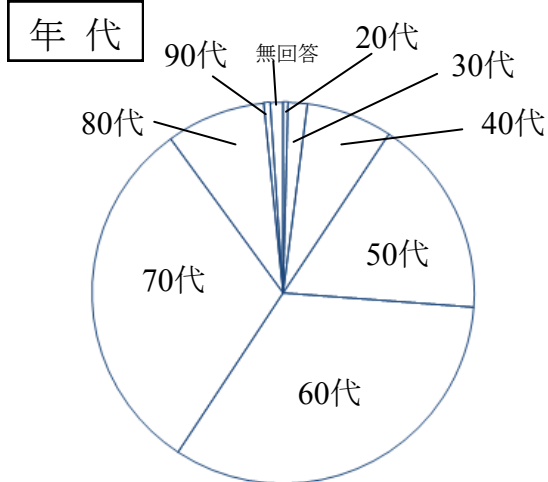
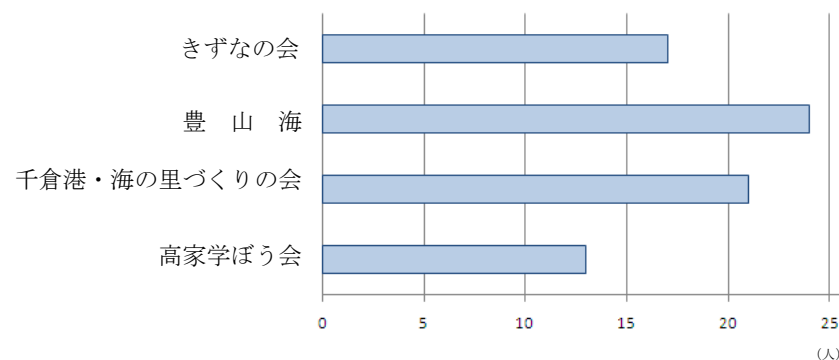
1. 現在、協働のまちづくりを推進するため千倉地域づくり協議会「きずな」の設立を進めていますが、あなたはこのことについてご存知ですか。



2. 協議会設立後、新たに会員を募集します。あなたは参加したいと思いますか。



3. 参加するに○印を付した方にお聞きします。参加する場合、どの活動グループに参加したいですか。



6月19日(日) 千倉港周辺および南千倉海岸の美化活動を実施しました



8:45千倉漁村センター前に集合。千倉港周辺は、協議会『きずな』会員、町内事業者、水産加工組合、漁協、近隣住民、中国人研修生などの約100名の参加があり、5ブロックに分けて清掃活動を行いました。



南千倉海岸は、千倉海岸美化推進委員会のメンバーと当日サーフィンに訪れていた人たち約50名で美化活動を行いました。

重さ300kg、トラック2台分のゴミが集まり、燃やせるゴミ、ペットボトル、缶、びん、プラスチックなどに分別し、清掃センターに持ち込みました。



今回のクリーンキャンペーンに前後して、市民による海岸清掃やゴミゼロ活動が行われました。港周辺に置かれた市民の手に負えない大きなゴミは、漁協が片付けました。この他にも、日頃から海岸や区内を掃除している団体、個人の方がおり、海岸や港、地区の美化が維持されています。



7月18日(海の日) 第1回千倉海の里まつり開催



千倉といえば、港町、漁師町。7月18日の海の日に合わせて、平館の千倉漁港周辺を会場に、第1回千倉海の里まつりが開催されました。

漁港周辺では、地元業者の協力で朝市が開かれ、海産物、農産物、特産品の販売が行われました。のりや乾物、手作りの漬物も出品されました。できたてで温かいまんじゅうや焼き団子は、いつ食べてもおいしいです。あじやホッケの干物、鮭などは、ケースでまとめ買いをしていくお客さんもいました。



獲れたて新鮮な夏野菜やメロン、ブルーベリー、夏ミカンなどフルーツがたくさん並びました。大輪の水蓮や鉢植えの色鮮やかで美しい花も出品されました。



「暮しに役立つロープワーク教室」では、大人も子供も夢中になって、ロープの使い方を習っていました。



ユーモラスな貝細工や千倉の海岸で見つかったカニの化石のストラップが展示販売され、多くの人が足を止め、興味深々見入っていました。